



2004年5月11日

株)メディアシークのバーコードリーダーソフト、 中国国際防偽技術設備展覧会で紹介

現在の中国における偽造品は、各所で被害を拡大しています。昨年9月に行われた中国流行歌ランキング受賞式では、全チケットの45%しか販売していないにもかかわらず、参加者は80~90%にも達しました。また、中国サッカーの甲Aリーグでも、1万枚前後しかチケットを販売していないにもかかわらず、2万人以上もの人が押しかけてしまうという事態も発生しております。

2004年4月27-29日に中国、北京で中国国際防偽技術設備展覧会(China International Anti-Counterfeiting Techniques & Equipment Expo)が開催されました。

主催は中国北京市公安局。後援も中国公安部装備財務局や同じく公安部科技局、中国防偽技術協会など。中国国内のみならず、海外からも多数の偽造防止に関する企業が参加して、総出展社数は200以上に達しました。

弊社株式会社メディアシーク(本社:東京都港区、代表取締役:西尾直紀、東証マザーズ、以下メディアシーク)は、バーコードリーダーソフトを利用した偽造防止技術を、子会社(スタートメディアジャパン株式会社、<http://www.startmedia.co.jp>)設立の共同出資者パートナーである東方惠科防偽技術有限公司(本社:中国・北京<http://www.515315.com/>、以下東方惠科)のブース内で紹介いたしました。

携帯電話という、我々の身近な道具で利用できるこの技術は、来場者の目を集めました。メディアシークでは、今後も中国市場におけるバーコードリーダーサービス事業、偽造防止事業の拡充に向けて注力していきます。

東方惠科は、偽造防止において高いセキュリティを有するユニークID発行技術を持ち、メディアシーク子会社のスタートメディアジャパン株式会社の共同出資パートナーです。

(写真1)



(写真2)





(写真1)

「2004中国国際防偽技術設備展覧会」に出展した東方恵科防偽技術有限公司のブース。2008年北京オリンピック大会に向け、偽造入場券の対策に迫られている中国において、東方恵科の「入場券偽造防止システム OAF-TIA」は会場を訪れた専門家の方々に好評を博しました。

(写真2)

「東方恵科 2004 新技術発表会 - 総合防偽技術応用シンポジウム」が北京のヒルトンホテルで開催され、関連政府機関並びに偽造防止を推進する責任者の方々が出席され、東方恵科の「総合偽造防止及び商品数字化管理ソリューション」に関心が集まりました。

【スタートメディアジャパン株式会社について】

スタートメディアジャパン株式会社は、株式会社メディアシーク（東証マザーズ：4824）と、中国の実達電腦集團（ソフトウェア開発/ハードウェア製造業。上海A株：600734）グループの合弁により2003年に設立されました。偽造防止用暗号化コードとしては中華人民共和国 国家質量監督検査検疫総局の認可第一号を取得した東方恵科防偽技術有限公司の技術を、日本市場及び日系企業向けに販売する事業を展開しています。同コードは偽造品防止/模倣品抑止システムのほか、トレーサビリティや消費者向けキャンペーンシステムにも利用可能であり、今後様々な事業展開を予定しています。

【東方恵科防偽技術有限公司について】

東方恵科防偽技術有限公司（本社：中国北京、<http://www.515315.com>）は、実達グループの関連会社で、偽造防止技術及びシステムの開発を行う専門会社です。設立以来急速に成長し、この偽造防止コードは様々な分野に幅広く採用され、昨年度のサービス開始以降、すでに300社以上と契約し、12億4千万コードの発行実績をもっておりまます。

【実達グループについて】

実達グループ（実達電腦集團、英語名：START GROUP、<http://www.start.com.cn>、上海証券取引所A株上場、証券コード：600734）は、中国国内のPOSシステムや銀行に設置されている紙幣の偽造チェック装置に関する中国国内シェア1の企業です。政府系のプロジェクトや委託業務も幅広く受託しています。パソコン、ソフトウェア、インターネット、情報通信サービスなど、様々な領域で活躍しています。グループ全体の資本金は20億元。グループ売上は40億元。総従業員数3000人を擁する企業グループです。